

令和3年度中山間地域振興協議会の概要について

〔広島県地域政策局
中山間地域振興課〕

1 日 時

令和4年2月14日（月） 14:00～14:40

2 場 所

Web会議

3 議 題

令和4年度 中山間地域振興の取組について

4 知事あいさつ（要旨）

中山間地域の振興にあたっては、とりわけ、活力の源泉となる「人」づくりにおいては、「ひろしま さとやま未来博2021」の開催や、人材のプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」を通じた地域実践者の活動の後押しなど、関連施策を総合的に進めており、地域づくりに取り組む動きが全県的に広がってきている。

また、こうした地域の変化を、中山間地域ならではの「仕事」づくりや、「生活環境」づくりにつなげていくことが重要であり、引き続き、市町と一体となり、地域の実情を踏まえた、実効性のある施策を展開していきたい。

5 主な意見等

- ・ 市内の公立高校において、下宿を営む方の高齢化もあり、地元からは寮を作ってはどうかという声も上がっている。市として、例えば寮を作るなど高校存続に向けた様々な支援をしていく場合に、ぜひ県からも支援をいただきたい。
- ・ 「ひろしまの森づくり事業」について、防戦一方になっている想いがある。特に過疎地域では、山は荒れる一方で、なんとか抑えようという事業になっているが、攻めの姿勢となる、投資をして地域の活力となるように森林を活かしていく事業にも使えるような拡充を検討してほしい。
- ・ バイオマスを活用する際の一番の課題は、実施するための伝送路が通っていない場所が数多くあることであり、基地設置に事業者へ高額負担が求められている。国にも要望しているが、県としても協力をお願いしたい。
- ・ 「海ごみ対策推進事業」について、モデル事業の実施との記載があるが、具体的な内容は予算が承認された後、事業説明されるのか。
- ・ 「瀬戸内地魚のブランド化推進事業」について、中山間地域の指定が要件になると思うが、対象外の地域における取組が対象になるのか。飲食店における営業実証や地魚の魅力を活かした商品開発においては、市で郷土産業振興館という施設を作り、6次産業化に向けた取組等をしている。弱体化している水産業者の底上げや地場産品の振興に、この事業が対象となるのか。
- ・ 「中山間地域外部人材活用支援事業」について、セミナーという形ではなく、例えばアドバイスのような形で3回とか来てもらうパターンは可能なのか。また講師は町の方で選定することは可能なのか。

- ・ 市では福塩線の存続に向けて、こういった取組ができるか利用促進施策等を検討している。自転車の車両への持込みや構内を活用したイベントなどを検討しているが、市単体では実現が難しい。芸備線沿線、福塩線沿線、県と一緒に、取組ができないか。
- ・ 「広島県への移住希望者や関心を持つ人が増えています」という記載について、コロナを経験する中で自然豊かな中山間地域は注目を浴びているという基本認識を持っていたが、先般7,000人を超える人が県外流出しており、広島県が全国一位ということがあった。資料では首都圏の方がさらに広島県に注目しているというデータがあるが、どのように分析をしているか。

以上